

新たな行政改革プランの策定に向けた「ＤＸ推進」に係る補足資料

【近年の主な取組】

（１）『協働の更なる推進』に係るＤＸの主な取組

取組	概要
全町会へのタブレット端末の配付	令和５年度にコロナ禍を経て、庁内活動が活性化される町会活動の効率化や町会役員の負担軽減などのため、各町会へタブレット端末を２台ずつ貸与。
AIによる無人子育て相談の実証実験	令和２年１１月に京都大学、株式会社ほっこりのプラスと連携協定を締結。子育てAIロボット（チャットボット及びリモートテレビ通話）による産後うつ予防など女性とこどものこころとからだの相談の実証実験を実施。
PayPayポイント還元キャンペーン	令和２年８月にPayPay株式会社とキャッシュレス推進に関する包括連携協定を締結。令和２年１０月にポイント（最大３０％）還元キャンペーンを実施。
デジタルデバйд解消のためのスマホ教室	令和５年１１月にソフトバンク株式会社とＤＸ推進に関する連携協定を締結。無料のスマートフォン教室を実施。

（２）『職員力・組織力の更なる向上』に係るＤＸの主な取組

取組	概要
デジタル化推進担当の設置	令和３年４月に自治体ＤＸ推進のため組織改正を行い、情報管理課内へデジタル化推進担当を設置
スマート窓口（異動受付支援システム）の導入	令和５年１０月に市民課窓口で、届出書類への記入が不要となる受付支援システムを本格導入。
AI翻訳機の導入	令和４年度に市役所窓口や保育所などへ、多言語対応のAI翻訳機を３０台導入。
職員出退勤システムの導入	令和５年１０月に新庁舎にて、職員の出退勤管理や休暇申請等を電子化するためのシステムを導入。
AI-OCR・RPAの運用開始	データ入力に係る業務効率向上のため、文書等の文字を自動識別の上、活用できるAI-OCR・RPAの運用開始。

(3) 『自律した行財政運営』に係るDXの主な取組

取組	概要
窓口案内表示システムの導入	令和5年10月に新庁舎に導入した市民課等の窓口案内表示システムについて、市の導入及び維持管理に係る費用負担がなく、広告料収入を得ることができる広告付き窓口案内表示システムを採用。
証明書手数料や市税収納等にキャッシュレス決済を導入	市役所窓口での証明書の発行に係る手数料や市民税や固定資産税等の納付にキャッシュレス決済を導入。
電子商品券支給事業	コロナ禍の緊急経済対策の一環として、全市民に一人3千円の電子商品券を支給（キャッシュレス決済を活用）。
証明書交付機の導入及び利用促進	令和6年4月に住民票等証明書の発行について、コンビニ等での証明書交付機の利用を促進するため、手数料の割引を実施。
小中学校の学習端末へデジタルドリルの導入	令和5年度に全児童・生徒の基礎学力の向上と理解度に応じた学びの実現のため、デジタルドリルを導入。
電子図書館サービスの導入	データ化された電子書籍を、インターネットを経由してスマホなどで、いつでもどこでも読書できる環境を提供。

【現在、検討中の主な取組】

取組	概要
生成AIの業務への活用	ChatGPTの業務への活用に関して、庁内にて実証実験を実施中。
市公式LINEの導入	市からの情報発信方法の一つとして導入を検討している公式ラインのコンテンツについて関係課にて協議中。
留守家庭児童指導室のICT化の推進	保護者との連絡や登校室の管理システムを導入するほか、Wi-Fi設備の導入によるICT環境の整備を検討中（市内公立保育園には令和4年度に整備・導入済み）。

※参考：第1回市民懇談会での意見に関連する他自治体でのDX取組事例

取組	概要	自治体
自動運転バスによる社会実証	外環側道部分の植栽を自動運転車両専用レーンとして整備し実施。	和光市
市民参加型共創プラットフォーム	テーマ別に意見やアイデアをオンラインプラットフォームを活用して募集し、政策形成に反映する仕組みを実施。	鎌倉市